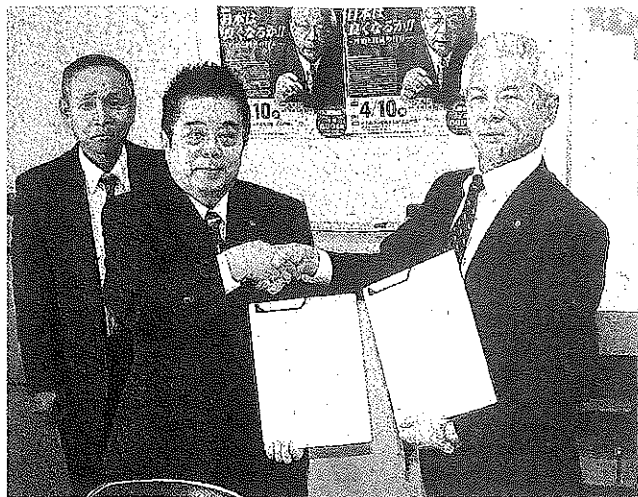


# 既存住宅の活性化へ協力

## 建築士会と全日本不動産協

覚書交わす



建築士会の歌門会長（中央）と全日本不動産協会の吉田本部長（右）が相互協力に関する覚書に調印後、固く握手を交わし記念撮影＝26日、県織協ビル3階の同本部で

公益社団法人全日本不  
動産協会福井県本部（吉  
田本部長）と一般社  
団法人福井県建築士会

（歌門敬一会長）は26日、

既存住宅の売買など流通市場の活性化にむけ、互いの専門性や役割、資源を発揮し協力し合っていく覚書を締結した。

対象が新築から空き家など中古物件へ比重が移る傾向、宅建士と建築士が相互に協力するメリットに着眼。既存住宅の状況調査（インスペクション）や各種研修、情報交換を密に図っていく。